

日本プライマリ・ケア連合学会
四国ブロック支部 活動報告

発行人：阿波谷, 大原, 板東, 川本, 澤田
事務局 〒761-2103
香川県綾歌郡綾川町陶 1720-1
綾川町国民健康保険陶病院気付
副支部長/事務局長 大原昌樹・森田宛
Tel. 087-876-1185 Fax. 087-876-3795
E-mail oharamasaki@gmail.com

★1 現場が見える～新春スペシャル～ 2019年2月16日(土曜日)

愛媛大学大学院医学系研究科 地域医療学講座 (愛媛) 川本 龍一

家庭医療や総合診療にて各地で活躍する愛媛大学医学部卒業生の先生方から総合診療医としての活動報告とキャリア形成に関するレクチャーを開催しました。

東京ベイ・浦安市川医療センターの東野 誠先生、岡山家庭医療センター・奈義ファミリークリニックの山内祐輔先生 (家庭医療専門医)、愛媛大学病院から地域医療学講座：川本龍一、熊木天児先生、救急航空医学講座：佐藤格夫先生が参加。

初日には、佐藤先生からドクターヘリに関する活動を交えた救急医療のノウハウと醍醐味に関する講演、さらに熊木天児先生からは地域の現場で患者を診察する際の心得に関する講演、さらに山内先生からは岡山の山間地域における家庭医療活動について、東野先生からは、臨床推論と診断に関する重要事項、誤診防止の心得などの講演が行われました。翌日は、各先生から自分史を含めた将来選択のポイント、後期研修をどのように選択したかについて学生からの質問を交えて講演が行われました。途中、女性のキャリアアップについては、地域医療医学講座の菊池明日香先生が、出産をまじかに控えてこれまでの歩みと今後の予定について自分の経験を含めた男女いづれも参考となるお話がありました。

学生さんの現場を知りたい、学びたいという強い思いに打たれました。



現場が見える vol.1
～新春スペシャル～

日時：2019年2月16日(土曜日) 10時～17時半
2019年2月17日(日曜日) 9時～12時
場所：愛媛大学医学部 基礎第1講義室
対象：医学士(全学年) 研修医

指導教員：
山内祐輔先生(岡山家庭医療センター 京義ファミリークリニック)
東野誠先生(東京ベイ・浦安市川医療センター)
川本龍一先生(愛媛大学医学部地域医療学講座)
佐藤格夫先生(愛媛大学医学部救急航空医学講座)
熊木天児先生(愛媛大学医学部地域医療学講座)

現場が見える vol.1
～新春スペシャル～

日時：2019年2月16日(土) 10時～17時
・10時～10時20分 はしめに
・10時20分～11時 佐藤先生による講演
・11時15分～12時15分 レクチャー① (東野先生による臨床推論)
・12時30分～13時 熊木先生によるランチョンセミナー
・13時15分～14時15分 レクチャー② 山内先生、東野先生
・14時30分～15時30分 レクチャー③
・15時45分～16時45分 レクチャー④
・17時～17時30分 レクチャー⑤

終了後、希望者による懇親会を予定しています！
当院の授業では学ぶ機会が少ない、医学を行う上での倫理観やアドリフトケアプランニングなどについて学べます！

2019年2月17日(日)
・9時30分～11時10分 卒業後のキャリアプラン、異動など
・11時20分～11時50分 川本先生による講演
・11時50分～12時 おわりに

【連絡事項】
2月16日は看護科の留試返りの日ですが、その際は少し少し遅らせていたいても構いません。昼食は各自で準備をお願いします。
今回の勉強会は学生が企画をしています！！
勉強会、懇親会と多くの方に参加してもらいたいと思っておりますので、よろしくお願ひします！
申込は右下のQRコードからどうぞ！
勉強会は当日の飛び入り参加も可能です！！

お問い合わせ：愛媛大学医学部CIE
E-mail : ethimed.cie@gmail.com

★2 健康講座の開催 2019年6月9日(日曜日)

徳島県プライマリ・ケア研究会 板東 浩

私たちは従来、プライマリ・ケア医学に関連して、プライマリ・ケア医学を本邦に紹介し導入された聖路加国際病院の日野原重明先生が広く啓発してこられた日野原イズム(Hinohara-ism)に関わる活動も、協調して行ってきました。近年注目されているのが糖質制限(Low Carbohydrate Diet, LCD)であり、日野原先生も食事においてLCDを重要視しておられました。このたび、糖質制限に関わる健康講座についてマネージメントを共催で行います。本邦に糖質制限を導入され多くのレクチャーや書籍を通じて糖質制限の理論と実践を展開されてきた京都の高雄病院の江部康二先生をお迎えします。講演の日時は6月8日、1300時からアスティ徳島で開催されます。当日の対象者は、医療関係者に加えて一般受講者も含まれており、有意義なレクチャーが期待されています。

実際に食べてみる(低糖質・低糖質) 体験して欲しい

糖質制限食 講演会
とくしま

こんな方におすすめ！

- 血糖値が高くても糖尿病ではない
- 血糖値を下げたい
- 糖尿病を予防したい
- 糖尿病を予防したい
- 糖尿病を予防したい
- 糖尿病を予防したい

【第1日】糖質制限で心身ともに健やかに！
板東 浩 医師(徳島県立中央病院) 徳島県立中央病院 徳島県立中央病院

【第2日】糖尿病・生活習慣病を予防、改善する糖質制限食
一人暮らしの食事、人脈の健康講座
江部 康二 医師(京都府立総合医療センター) 京都府立総合医療センター

【日時】2019年6月9日(日)
13:00～18:30
※開場：受付は12:40～
【会場】アスティとくしま 3階
第2特別会議室
1階受付(無料) ¥2,000円
1階受付(有料) ¥2,000円
1階受付(有料) ¥2,000円
1階受付(有料) ¥2,000円

【申し込み】2019年6月9日(日) 13:00～18:30
※開場：受付は12:40～
【会場】アスティとくしま 3階
第2特別会議室
1階受付(無料) ¥2,000円
1階受付(有料) ¥2,000円
1階受付(有料) ¥2,000円
1階受付(有料) ¥2,000円

【申し込み】2019年6月9日(日) 13:00～18:30
※開場：受付は12:40～
【会場】アスティとくしま 3階
第2特別会議室
1階受付(無料) ¥2,000円
1階受付(有料) ¥2,000円
1階受付(有料) ¥2,000円
1階受付(有料) ¥2,000円

【申し込み】2019年6月9日(日) 13:00～18:30
※開場：受付は12:40～
【会場】アスティとくしま 3階
第2特別会議室
1階受付(無料) ¥2,000円
1階受付(有料) ¥2,000円
1階受付(有料) ¥2,000円
1階受付(有料) ¥2,000円

★3 多職種連携活動により地域包括ケアを学ぶ取り組み開催 2019年3月14～18日

愛媛大学大学院医学系研究科 地域医療学講座 (愛媛) 川本 龍一

今回、医学生と看護後学生を対象として、多職種連携活動を学ぶワークショップを開催しました。これは愛媛大学 GP 事業に採択されたもので、こうした活動を通して、地域医療における多職種連携の重要性を学んでいただきました。学生たちは、健康問題をもちながら地域で生活する人々との関わりを通じて、その人の価値観やニーズを知るとともに、その人の生活を支える家族、専門職、地域住民と関わり、住み慣れた地域でその人と家族が暮し続けることができるための地域包括ケアシステムの推進に向けた医療関係者の役割を体験されました。



★4 第23回徳島地域医療教育研究会の開催

徳島大学病院総合診療部 / 徳島大学大学院総合診療医学分野 谷憲治

平成31年3月2日(土)に徳島県内のホテルで第23回徳島地域医療教育研究会を開催しました。この研究会は徳島大学に当教室が誕生した直後の平成20年から年に2回定期的に開催しており、今回23回目を迎えました。地域医療に関心の高い徳島大学医学生と徳島県内で地域医療教育に関わっていただいている地域医療機関の先生方および当教員が参加することで、徳島での地域医療実習などの地域医療教育レベルの向上を目指すことを目的に開催しています。今回も、医学生30名と医師20名、合わせて50名が参加しました。主催者の谷の挨拶の後、最初に、本年1月の指定学外実習で地域医療実習を選択した医学科5年生の2名が4週間の実習内容の報告を行いました。発表後には出席した地域医療機関の指導医の先生方からの温かい感想とコメントをいただきました。

特別講演には福井県のおおい町国民健康保険名田庄診療所の

中村伸一先生にお越しいただき、「地域に”寄

りそ医”25年～人生に大切なことは全て地域から学んだ」のタイトルでの講演をしていただきました。自治医科大学をご卒業後人生の大半をひとつの診療所で地域住民の生命と健康を守る業務にささげてきたこれまでの経験を熱く語っていただきました。

地域に密着した医療に関わる魅力を十分に感じることができました。講演会後の懇親会では、中村先生や県内の指導医と医学生たちとの有意義な交流も行われました。



第23回徳島地域医療教育研究会

この度、下記のとおり第23回徳島地域医療教育研究会を開催いたします。今回は、地域医療実習生の実習報告とNHK「プロフェッショナル(仕事の流儀)」出演などでご高名な名田庄診療所所長の中村伸一先生の特別講演を予定しています。

日時：2019年3月2日(土) 19:00～
場所：ホテルクレメント徳島
徳島市寺島本町西1-61 088-656-3111

- 実習報告 (19:00～19:30)
- 特別講演 (19:30～20:30)
- 意見交換会 (20:40～)

おおい町国民健康保険名田庄診療所 所長
中村 伸一 先生

『地域に“寄りそ医”25年
人生にとって大切なことは全て地域から学んだ』

共催 徳島大学病院総合診療部
徳島大学総合診療医学分野

★5 2019 年度四国ブロック支部 専攻医ポートフォリオ発表会

原 穂高 (愛媛生協病院 家庭医療科)

このたび、下記の日程で専攻医ポートフォリオ発表会を行います。

期日：2019年4月20日(土)

場所：高知医療センター 2F やいろちょう、やなせすぎ

時間：13時半～ ポートフォリオ発表会 (ポスター形式)

新専攻医歓迎と専攻医交流会(プログラム紹介)

対象：PC学会家庭医療後期研修プログラム専攻医、専門医機構

総合診療専門研修プログラム専攻医、指導医、関係者

参加費：無料

- ・ポートフォリオ発表会に関して
参加応募の締め切りは3月31日
ポスター形式

テーマに学年毎の指定はありません。以下参照してください。

-PC学会版 https://www.primary-care.or.jp/nintei_fp/pdf/portfolio2019.pdf

-専門医機構版 http://www.japan-senmon-i.jp/comprehensive/specialized_training.html の総合診療

専門研修専攻医研修手帳の11ページ。発表時間は6分、質疑応答合わせて10分です。

専攻医のみならず、できる限り発表をお願いいたします。



★6 医学生による地域医療施設視察訪問

徳島大学病院総合診療部/徳島大学大学院総合診療医学分野 谷憲治

平成30年11月4日(日)地域医療研究会 T-CoMのサークルメンバーの有志達が徳島県の地域医療機関である勝浦町立勝浦病院を視察しました。小西勝浦病院長および野上勝浦町長から勝浦病院の現状や医師確保対策、勝浦町の活性化に向けた取り組みをお話いただきました。また、



勝浦町の「地域医療を考える会」の住民代表の方との意見交換を行い、地域医療をよくするための住民の役割を学ぶことができました。

勝浦町の特産であるみかんの収穫も体験させていただくとともに、住民の取り組みとして全国的にも有名な「勝浦町ビッグひな祭り」の現場も視察させていただきました。地域医療の活性化には、まずは地域である町の活性化が必要であること、それに向けては住民の果たす役割が大きいことを教えていただきました。休日を返上してご案内していただきました関係者の皆様、ありがとうございました。

★7 「香川県地域包括ケアシステム学会」設立記念大会1月13日に開催

四国ブロック支部事務局長・副支部長 大原 昌樹

平成31年1月13日(日)、「香川県地域包括ケアシステム学会」設立記念大会が高松市内で行われました。香川県の保健・医療・福祉の関係団体、香川大学、香川県立保健医療大学、産業界、住民組織、行政など地域包括ケアシステムに関わる団体・組織から約300名の参加者がありました。特筆すべきは、大学が非常に熱心で、両大学学長とともに副学長・理事、教授も多数参加してくれていました。

学会長の久米川香川県医師会会長に続いて、香川県副知事、香川大学学長、四国厚生支局長、綾坂出市長(香

川州市長会会長) の挨拶がありました。設立目的について私から説明しましたが、地域包括ケアの質を高めることと情報交換・共有が主目的です。ただ、参加機関も多いので、活動内容や規約については来年度十分に議論して進めていくことにしています。

特別講演は、東大高齢社会総合研究機構秋山弘子教授の「長寿社会のまちづくり：地域包括ケア」と鉄祐会武藤真祐理事長の「医療 ICT 化の現状と未来」でした。秋山教授は、高齢者の心身の健康や経済、加齢に伴う人間関係の変化を 30 年以上にわたり研究されてきた社会心理学者で、長寿社会のまちづくりの主要な領域には、就労・社会参加・生きがい、生涯学習、人のつながり、虚弱予防、包括的医療介護システム、住宅、移動手段、情報システムなどがあると具体例を交えて話され、設立記念大会にふさわしい講演でした。

午後からは、厚生労働省、経済産業省両課長の基調講演がまずありました。このような会では厚労省の講演は多いと思いますが、経産省の話はほとんどないと思います。医療介護サービスの中核は、医療保険、介護保険ですが、これだけで多様化するニーズを満たすことは難しいと考えられます。それを補完したり、新しいサービスが保険外で生まれそれを支援することも重要であり、国では「次世代ヘルスケア産業協議会」で省庁横断的に議論されています。



講演では、生涯現役社会構築に向けてのヘルスケア産業政策についてさまざまな角度からの話がありました。その後のシンポジウムは、「これからの健幸社会を実現するために～新時代に向けた地域包括ケアシステム～」というテーマで、坂出市医師会、高松市社会福祉協議会、まんのう町国保造田歯科診療所、香川大学経済学部、高松市香西長寿声かけ隊の 5 名のシンポジストから発表がありました。県内でも意外と知られていない活動も多く、各地の取組みの熱意にも驚きました。まとめると、まちづくりの重要性ということになりますが、いろいろなアプローチの方法がある、資源が少なくても取り組めることは多い、地域住民や産業界も含めたネットワークの重要性を学びました。

第 2 回香川県地域包括ケアシステム学会は、2019 年 11 月 3 日（日）に行いますが、11 月 2 日（土）午後から 3 日（日）にかけて第 19 回日本プライマリ・ケア連合学会四国地方会を一部平行する形で行いたいと考えています。大会長は、小豆島中央病院佐藤清人企業長です。学会への参加も可能としたいと思いますので、多くの皆様にご参加いただきたいと思います。

★8 高知県立病院群総合医・家庭医養成後期研修プログラム研修修了式が開催(2019 年 3 月 16 日)

高知大学医学部家庭医療学講座 阿波谷敏英

家庭医療後期研修プログラム (Ver.2) である高知県立病院群総合医・家庭医養成後期研修プログラムの研修修了式が開催されました。この 3 月で 3 人の専攻医 (氏原亜梨奈先生、安倍秀和先生、大窪秀直先生) が研修を修了することとなりました。それぞれの専攻医は、ポートフォリオ作成などの苦労はありましたが、立派に研修をやり遂げてくれました。

修了式に引き続いて、昨年、研修を修了して専門医試験に合格した江田雅志先生 (県立あき総合病院) が「専門医試験に向けて」と題して、自身の経験をお話してくれました。今回研修を修了した 3 人の先生も、4 か月後の専門医試験に向けてしっかり準備してくれると思います。



次に、県内の家庭医療・総合診療専攻医からこの1年を振り返って、今回修了した3人の専攻医は研修全体を振り返って、学んだことのプレゼンテーションをしてくださいました。家庭医療・総合診療に従事する医師は、手術手技、カテーテル治療のように他の医師にできないスキルを有しているも



のではありません。それだけに専攻医たちも悩みがないわけではなかっただろうと思います。

しかし、幅広い扱う問題を扱ったり、地域との繋がりを持った活動など、家庭医療・総合診療の本質をしっかり学んでくれていることが伝わってきました。3人の専攻医の今後の活躍を期待するとともに、ますます高知県全体で総合診療・家庭医療を志す医師を育てる体制を充実させていきたいと思ひます。



★9 高知総合診療セミナーが開催(2019年3月16日)

高知大学医学部附属病院総合診療部 瀬尾宏美

高知医療再生機構の補助事業を活用した「高知総合診療セミナー」が開催され、家庭医療・総合診療に興味を持った医学生、研修医をはじめとする約30名が参加しました。講師は「総合診療医ドクターG」でもお馴染みの山中克郎先生(諏訪中央病院)で、「ふらつきを訴える患者に出会ったら— 攻める問診&診察実演」と題して約2時間の講演がありました。

山中先生の講演はスライドを用いず、挨拶で始まった日常の話がいつのまにか実践的な診療のノウハウへとつり、ホワイトボードのメモと実演を交えながら進めるスタイルで、指導医にとっても多くの学びがありました。とくに中枢性めまいを見逃さないための「攻める問診」の考え方や、患者の歩行姿勢の見方、神経診察で所見がでにくい際の工夫など、実臨床ですぐに使えるテクニックを、医学生の協力で実演されました。さらに良性発作性頭位めまい症の診断・治療におけるディックス・ホールパイク法およびエプリー法の実演では、耳石の動きを患者役の耳介を用いて示され、大変印象



深いセミナーでした。

今後も医学生・研修医・専攻医・指導医がともに学べるセミナーを企画していきたいと考えています。

「ふらつきを訴える
患者に出会ったら」
攻める問診&診察実演

諏訪中央病院
やまなか かつお
山中克郎先生

日程・会場が新しくなりました

第1回
高知総合診療セミナー

日時: 2019年3月16日(土) 17:00~20:00
会場: 近森病院 A棟9階会議室
対象: 医療従事者・医療系学生
(職種は問いません)

参加費: 無料/事前登録: 不要
主催: 高知総合診療・病態
診断研究会

※本セミナーの開催は、「一般社団法人 高知医療再生機構」の補助事業を活用しています。
※日本医師会認定生涯教育講座/日本プライマリ・ケア連合学会専門医・認定医更新単位を申請予定です。
高知総合診療・病態診断研究会事務局
高知大学医学部附属病院 総合診療部 (担当 山崎聡子)
TEL: 088-880-2515 / FAX: 088-880-2518 / Email: sogoshin@me.com